



第2530地区 福島西ロータリークラブ会報

会長 高橋 智 弘
幹事 高相 澤 隆

奉仕プロジェクト委員会委員長 高梨 哲 男

会報写真担当 宮崎 秀 剛

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

令和3年10月4日(月) 第8回 通算第1602例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第8回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 高橋 智 弘 会長
- ◇国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」ソングリーダー 佐藤 慶 行 会員
- ◇「四つのテスト」唱和 職業奉仕委員会 佐藤 慶 行 委員長



- ◇お客様並びにビジター紹介
RI第2530地区 県北第一分区 ガバナー補佐 (福島西RC) 佐藤 宗 弘 様
RI第2530地区 県北第一分区 幹事 (福島西RC) 佐藤 卓 立 様
RI第2530地区 県北第一分区 幹事 オンライン(福島西RC) 黒澤 信 之 様

10月誕生祝い



- ・齋藤武二会員 昭和14年10月5日生
- ・新開文雄会員 昭和26年10月16日生
- ・高梨哲男会員 昭和24年10月30日生

◇会長あいさつ 高橋 智 弘 会長



皆さん、こんにちは。まず、佐藤宗弘ガバナー補佐様、幹事佐藤卓立様、幹事黒澤信之様、今日はようこそいらっしゃいました。よろしくお祈り致します。前回は、まん延防止の観点から、事務局よりZoomでのスピーチ配信でした。ようやく通常通り例会場においてスピーチをしていただけるようになりましたので、佐藤宗弘ガバナー補佐様には今日はたっぷりとお話をさせていただければと思います。よろしくお祈り致します。そして、今月お誕生日を迎えられました齋藤武二会員、高梨哲男会員、新開文雄会員、おめでとうございます。

さて、今月は「地域社会の経済発展月間」「米山月間」です。世界では14億人が1日1ドル25セント未満での生活を強いられています。ロータリーは支援が行き届いていない

地域社会において研修、雇用の機会、小口ローンを提供することで、経済や地域社会の発展と貧困の緩和に取り組んでいます。さらに仕事に必要な道具を寄贈したり、職業研修を行ったりすることで貧困地域における起業家やリーダー、特に女性を応援しています。福島においても、女性の起業家やリーダーがどんどん増えてきているように感じます。先週、黒澤会員増強委員長がおっしゃっていましたが、まん延防止も解除となり、活動も少しずつ活発になってくるので、乗り遅れないように、そういった方々にもお声がけ出来るように努力していきたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。

◇幹事報告 相澤 隆 幹事

○例会変更のお知らせ

・次週11日の例会は、理事会承認休会(第1回)となります。

○その他のお知らせ

・本日例会終了後、当会場にて10月理事会を開催致します。理事役員の皆様は引き続き出席をお願い致します。

・10月14日(木)18:30より福島市民会館にて少年野球大会代表者会議を開催致します。関係者の皆様はよろしくお祈り致します。

・10月ロータリーレートは112円となりますのでお知らせ致します。

委員会報告

◇プログラム・出席・スマイリングBOX小委員会 高梨 哲 男 委員長

○高橋智弘会長=佐藤宗弘ガバナー補佐、佐藤卓立分区幹事、黒澤信之分区幹事、今日はよろしくお祈り致します。

○佐藤宗弘会員=上期最後のスピーチとなります。本日はよろしくお祈り致します。

○久米允彦会員=佐藤AGのスピーチを楽しみにしています。

○齋藤武二会員=誕生祝ありがとうございました。

○梅津一匡会員=先週の西形会員による西ロータリー創成期のスピーチ、大変興味深く拝聴致しました。先人のご労苦に応えるべく、がんばらにやと感じました。

○宮崎秀剛会員=本日もよろしくお祈りします。

—————佐藤宗弘ガバナー補佐スピーチによせて—————

○相澤 隆 幹事 ○大平謹一郎 会員 ○佐藤慶行 会員

○佐藤卓立 会員 ○寺島英樹 会員 ○野尻榮一 会員

○渡辺敬藏 会員 ○高梨哲男 会員

本日のスマイリングBOX集計14件 31,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇会報・雑誌・広報・IT小委員会 宮崎 秀 剛 委員長
*「ロータリーの友」10月号紹介



◇本日のプログラム——ガバナー補佐スピーチ
(パソコン・プロジェクター・スクリーン使用)

RI第2530地区東北第一分区ガバナー補佐 佐藤 宗弘様
 「ロータリーの構造および国際ロータリーの変化・認識について」



昨年から続く新型コロナウイルス感染症の更なる感染拡大により、2度目の緊急事態宣言が発出され、GOTOトラベル等の前向きな経済活動はやむなく中断され、日本や世界は引き続きパンデミック状態となっています。しかし、こういった状況から新しい生活様式が確立されてきたのも事実であり、オンラインによる会議やミーティング、懇談会の開催はすでに広く浸透しています。

また一方で、三密を避けるための巣ごもり需要も増加し、食事、交通、外部活動において変化が生まれました。ロータリークラブも大きな影響を受けておりますが、マイナスにとらえるのではなく、前向きにとらえて変化に対応するロータリーになることが急務と考えます。

そのためにはRIが提唱しているロータリーのビジョン声明、中核的価値観の「親睦」・「高潔性」・「多様性」・「奉仕」・「リーダーシップ」を取り入れ、また、4つの行動計画 ①より大きなインパクトをもたらす ②参加者の基盤を広げる ③参加者の積極的なかわりを促す ④適応力を高める、について学び活かすことにより、ロータリークラブ、ロータリアンの成長は新時代を切り開くきっかけになるものと思っております。

ポール・ハリスの友達を作ろうから116年が経過した今日、ビジョン声明、中核的価値観、行動計画と新しいロータリークラブに生まれ変わろうと努力しております。親睦を中心としたロータリークラブから奉仕が出来るロータリークラブに変わろうとしています。時代の要求ニーズに合うロータリーに変化していくことが大切だと考えます。

2020年3月以降、ロータリークラブもオンライン例会やバーチャル形式での開催に大きく舵をきりました。人と人が顔を合わせることが難しい時代、それがニューノーマルになり、人が集まることで活性化されていた時代は否定されました。今後、新型コロナウイルスが収束したとしても、オンラインやバーチャルといった便利なのは活用されることと思います。しかし、この新型コロナウイルスの影響は、マイナスなことばかりでもありません。緊急事態宣言を受け、社会生活が変化したことにより、CO2排出がかなり減少したというプラスの面もありました。今からの時代、環境問題は避けて通れません。ロータリーも6つの重点分野に環境が新たに加わり、7つの重点分野になりました。

再生可能エネルギーを利用し、環境を守っていくことが人類としての使命でもあります。このかつてない未曾有の事態は、今までの在り方を考え直すチャンスです。これからの新しい時代を生き抜くために、新しい考え方にチェンジする必要があります。残すべきものは残し、新しいものを取り入れ、変えるべきものは変える勇気が必要な時であります。

ポリオ根絶を目指して世界ポリオデーが今月24日に開催されます。ポリオとは感染性の高い病気で、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。ポリオウイルスは人から人へ感染し、神経系を侵すことで身体の麻痺を引き起こし、死に至らしめることもあります。治療法はありませんがワクチンで予防が可能です。日本では1980年を最後に症例はありませんが海外からポリオウイルスが入る可能性があるため、乳児へのポリオ予防接種が行われています。ポリオ根絶が実現できれば、天然痘に続いて根絶される人類史上2番目の疾病となります。1988年にロータリーとパートナーが世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)を開始した当時は、125カ国で毎年35万件のポリ

オの症例がありました。現在では、長年のポリオ根絶活動によってポリオの症例は99.9%減少しており、野生型ポリオウイルスの症例が報告されているのは、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみです。ウイルスは他国へと流入する危険があり、ロータリーはポリオ根絶が完遂されるまで、引き続き活動を継続していかねばなりません。

『ロータリーの友』令和3年2月号17ページに昨年11月に開催された第49回ロータリー研究会のレポートが掲載されておりましたが記事では殆ど説明がない、ロータリー未来形成委員会の報告は衝撃的な内容です。

世界のロータリーの状況を踏まえてRIと財団双方を大胆に改革する提案です。

辰野RI理事によれば大まかに言うと、地区をなくし、結果ガバナー、ガバナー補佐がなくなり、世界を言語・文化等で20~30の地域に分け、3年任期の地域を配置し、その下に25~30のクラブを支援する2年任期のセクショナルリーダーを配置するというものです。

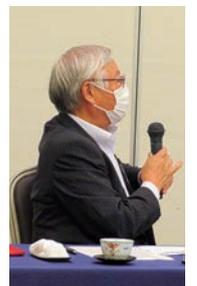
2018年7月にロータリー未来形成委員会が設立され、同年10月委員会が開始されました。

この組織の変更は、2022年の規定審議会(RIの立法機関)で承認されると、パイロット開始から6年間で全世界での展開・試験的な運用がなされ、つまり2030年頃から地区やガバナー制度がなくなり、新しいガバナンス体制がスタートする可能性があります。未来形成委員会の審議内容は、確定的なものではなく、内容は流動的です。

この未来形成の提案を実現させようとするRI理事会や未来形成委員会の強い意志は感じられますがこの提案へは期待と不安の両方があります。何分にも情報不足であり、暫くの間、ロータリーはこの問題で揺れ動くことになりそうですが、その場その場の情報で一喜一憂することなく、今後提供される内容を注視して熟考の上で判断していただきたいと思えます。

善意の人々の集まりであるロータリーの運営は時間がかかっても、出来るだけ多くの会員の理解を得ながら人々の善意に働きかけるものであって欲しいと思います。いづれにしても、システムがどのように変わっても、あらゆるロータリーの活動の主役はロータリアンであり、一つのクラブであることに変わりはありません。私たちが目指すのは「ロータリーの親睦と奉仕を通して自分を磨き続け、地域社会の発展に貢献し、更には世界平和を実現させる」ことでもあります。

これからも、学び・考え・伝え・実践することを積み重ね、自分の信じる道を堂々と歩んで行きましょう。ご清聴有り難うございました。



◇閉会点鐘 高橋 智 弘会長
 ※会報カメラ担当 宮崎 秀 剛 副会長